



Ethernet [MODBUS/TCP] 通信変換器

COM-JL [SRJ対応版] 通信データ一覧

IMR01Y50-J1 All Rights Reserved, Copyright © 2017, RKC INSTRUMENT INC.

本書は COM-JL の通信データについて説明したものです。設置・配線および詳細な取り扱いや各機能の操作については、必要に応じて、以下に示す取扱説明書を参照してください。

- COM-JL [SRJ 対応] 設置・配線取扱説明書 (IMR01Y48-JC): 製品添付
 - COM-JL [SRJ 対応] 簡易取扱説明書 (IMR01Y49-JC): 製品添付
 - COM-JL [SRJ 対応] 取扱説明書 (IMR01Y51-JC): 別冊
- (ダウンロードまたは別売り)



別冊の説明書は、当社ホームページからダウンロードできます。
ホームページアドレス: http://www.rkcinst.co.jp/download_load.htm

1. データマップの見方

名 称	レジスタ アドレス		データ 数	属性	データ範囲	出荷値
	HEX	DEC				
測定値 (PV)	0000	0	64	RO	入カスケール下限～ 入カスケール上限	—

- (1) 名 称: 通信データの名称
- (2) レジスタアドレス: 各項目の先頭アドレスです。(空き番号は不使用となります)
HEX: 16 進数
DEC: 10 進数
- (3) データ数: 各項目のデータ数
レジスタアドレス欄のアドレスを先頭アドレスにして、このデータ数分のデータがあります。



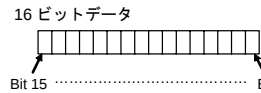
8 チャンネルタイプ (J-TI-B モジュール) の場合も、1 モジュールあたりのデータ数は、16 チャンネルタイプ (J-TI-A モジュール) と同じです。
(16 チャンネル × 4 モジュール = 64)

- (4) 属 性: RO: 読み出しのみ可能
(ホストコンピュータ ← コントローラ)
RW: 読み出し／書き込み可能
(ホストコンピュータ ↔ コントローラ)

- (5) データ範囲: 通信データの読み出し範囲または書き込み範囲



ビットデータのビットイメージは以下のとおりです。



- (6) 出荷値: 通信データの出荷値



8 チャンネルタイプ (J-TI-B モジュール) の CH9～CH16 チャンネルは、以下のようになります。

- 運転モード: 「0: 不使用」
- 運転モード以外の通信データ: 無効¹

¹ CH9～CH16 の通信データの値は、CH1～CH8 の出荷値と同じになります。
データ書き込み時、データは正常に書き込まれますが使用されません。



モジュール単位の通信データ²の場合、接続されていないモジュールのデータは「読み出し: 0」、「書き込み: 無効」になります。

² 名称欄に♥マークのある通信データです。



通信データには、「通常設定データ」、「エンジニアリング設定データ」³があります。

³ 名称欄に♦マークのある通信データです。



警告

エンジニアリング設定データは、使用条件にあわせて最初に設定するデータであり、その後、通常に使用されている限りでは変更の必要がない項目です。また、むやみに設定を変更すると、機器の誤動作、故障の原因となりますので注意してください。この場合の機器故障、破損については、当社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。



エンジニアリング設定データの設定を行うには、STOP (制御停止) にする必要があります。ただし、確認のみは RUN 状態でもできます。

2. データマップ

データマップは、ホストコンピュータとコントローラ (SRJ) が通信できるデータをまとめたものです。

2.1 SRJ (J-TI モジュール) 通信データ

名 称	レジスタ アドレス		データ 数	属性	データ範囲	出荷値
	HEX	DEC				
測定値 (PV)	0000	0	64	RO	入カスケール下限～ 入カスケール上限 (入カレンジの下限値～ 入カレンジの上限値)	—
不使用	0040	64	64	—	—	—
不使用	0080	128	64	—	—	—
設定値 (SV) モニタ	00C0	192	64	RO	入カスケール下限～ 入カスケール上限 (入カレンジの下限値～ 入カレンジの上限値)	—
不使用	0100	256	64	—	—	—
バーンアウト状態 モニタ	0140	320	64	RO	0: OFF 1: ON	—
不使用	0180	384	64	—	—	—
イベント1状態モニタ	01C0	448	64	RO	0: OFF 1: ON	—
イベント2状態モニタ	0200	512	64	RO	0: OFF 1: ON	—
不使用	0240	576	64	—	—	—
不使用	0280	640	64	—	—	—
不使用	02C0	704	64	—	—	—
制御ループ断線警報 (LBA) 状態モニタ	0300	768	64	RO	0: OFF 1: ON	—
操作出力値 (MV) モニタ [加熱側]	0340	832	64	RO	-5.0～+105.0 %	—
不使用	0380	896	64	—	—	—
エラーコード ♥	03C0	960	64	RO	ビットデータ Bit 0: データバックアップエラー Bit 1: CVM アドレス重複設定エラー Bit 2: モジュール構成異常 Bit 3: 調整データ異常 Bit 4: A/D 変換値異常 Bit 5～Bit 7: 不使用 データ 0: OFF 1: ON [10 進数表現: 0～31]	—
不使用	0400	1024	—	—	—	—
ROM バージョン表示 ♥	073F	1855	—	—	—	—
不使用	0780	1920	64	—	—	—
不使用	07C0	1984	64	—	—	—
PID/AT 切換	0800	2048	64	RW	0: PID 制御 1: オートチューニング(AT) 実行 * * オートチューニング終了後は、自動的に 0 に戻ります。	0
オート／マニュアル 切換	0840	2112	64	RW	0: オートモード 1: マニュアルモード	0
不使用	0880	2176	64	—	—	—
RUN/STOP 切換 ♥	08C0	2240	64	RW	0: STOP (制御停止) 1: RUN (制御開始)	0
不使用	0900	2304	64	—	—	—
不使用	0940	2368	64	—	—	—
イベント1 設定値	0980	2432	64	RW	• 上限偏差、下限偏差 - 入カスパン～入カスパン • 上下限偏差、範囲内偏差 0.0～入カスパン	0.0
イベント2 設定値	09C0	2496	64	RW	• 上限入力値、下限入力値 入カスケール下限～ 入カスケール上限 (入カレンジの下限値～ 入カレンジの上限値)	0.0
不使用	0A00	2560	64	—	—	—
不使用	0A40	2624	64	—	—	—
制御ループ断線警報 (LBA) 時間	0A80	2688	64	RW	1～7200 秒	480
LBA デッドバンド (LBD)	0AC0	2752	64	RW	0.0～入カスパン	0.0
設定値 (SV)	0B00	2816	64	RW	入カスケール下限～ 入カスケール上限 (入カレンジの下限値～ 入カレンジの上限値)	0.0
比例帯 [加熱側]	0B40	2880	64	RW	0.0～入カスパン (単位: °C) (0.0: 二位置 [ON/OFF] 動作)	10.0
積分時間 [加熱側]	0B80	2944	64	RW	1～3600 秒	240
微分時間 [加熱側]	0BC0	3008	64	RW	0～3600 秒 (0: PI 動作)	60
制御応答パラメータ	0C00	3072	64	RW	0: Slow 1: Medium 2: Fast [P、PD 動作時: 無効]	2
不使用	0C40	3136	—	—	—	—
不使用	0C80	3200	—	—	—	—
不使用	0CC0	3264	—	—	—	—
不使用	0D00	3328	—	—	—	—
不使用	0D40	3392	—	—	—	—
不使用	0D80	3456	—	—	—	—
不使用	0DC0	3520	—	—	—	—
不使用	0E00	3584	—	—	—	—
不使用	0E40	3648	—	—	—	—
不使用	0E80	3712	—	—	—	—
不使用	0EC0	3776	—	—	—	—
不使用	0F00	3840	—	—	—	—
不使用	0F40	3904	—	—	—	—
不使用	0F80	3968	—	—	—	—
不使用	0FC0	4032	—	—	—	—
不使用	1000	4096	—	—	—	—

♥: モジュール単位の通信データ

名 称	レジスタ アドレス		デー タ 数	属性	データ範囲	出荷値
	HEX	DEC				
PV バイアス	1000	4096	64	R/W	-入カスパン～+入カスパン	0.0
PV デジタルフィルタ	1040	4160	64	R/W	0～100 秒 0: 機能なし	0
不使用	1080 : : 11BF	4224 : : 4543	—	—	—	—
比例周期 [加熱側]	11C0	4544	64	R/W	1～100 秒 J-TI マスターの CH1 のみ有効。 J-TI マスターの CH1 以外のチャ ネルに設定しても無視されます。 J-TI マスター: 通信アドレス 0、4、8、C の J-TI モジュール	2
不使用	1200	4608	64	—	—	—
マニュアル操作 出力値	1240	4672	64	R/W	-5.0～+105.0 % オートモードで動作中に設定した 場合: 正常応答 (RO に対する書き込 みと同じ動作)	0.0
不使用	1280 : : 147F	4736 : : 5247	—	—	—	—
入力レンジ番号 ◆	1480	5248	64	R/W	●熱電対 (TC) 入力 0: K 0.0～400.0 °C 1: K 0.0～800.0 °C 2: K 0.0～1300.0 °C 3: R 0.0～1700.0 °C ●測温抵抗体 (RTD) 入力 10: Pt100 0.0～400.0 °C 11: Pt100 0.0～600.0 °C 12: Pt100 0.0～800.0 °C 入力レンジを切り換えた場合、3 秒 以上経過してから RUN にしてく ださい。	J-TI モジ ュール注文 時に指定 した入力 レンジ コードと 同じ入力 レンジ
不使用	14C0	5312	64	—	—	—
小数点位置モニタ	1500	5376	64	RO	0: 小数点なし 1: 小数点以下 1 桁	—
入カスケール上限 モニタ	1540	5440	64	RO	入力レンジの上限値	—
入カスケール下限 モニタ	1580	5504	64	RO	入力レンジの下限値	—
入力異常判断点上限	15C0	5568	64	R/W	入力異常判断点下限～ 入カスケール上限 (入力異常判断点下限～ 入力レンジの上限値)	入カ スケール 上限 (入カ レンジ の 上限値)
入力異常判断点下限	1600	5632	64	R/W	入カスケール下限～ 入力異常判断点上限 (入力レンジの下限値～ 入力異常判断点上限)	入カ スケール 下限 (入カ レンジ の 下限値)
不使用	1640 : : 1C3F	5696 : : 7231	—	—	—	—
イベント 1 種類 ◆	1C40	7232	64	R/W	0: イベント機能なし 1: 上限入力値 ^a 2: 下限入力値 ^a 3: 上限偏差 ^b 4: 下限偏差 ^b 5: 上下限偏差 ^b 6: 範囲内偏差 ^b ^a 待機動作の選択が可能です。 ^b 待機および再待機動作の選択が 可能です。	J-TI モジ ュール注文 時に、イベ ント種類 コードを 指定した 場合は、 イベント 種類コー ドと同じ イベント 種類 イベント 種類コー ド指定 なしの 場合: 3
イベント 1 待機動作 ◆	1C80	7296	64	R/W	ビットデータ Bit 0: 待機有無 Bit 1: 再待機有無 Bit 2～Bit 7: 不使用 データ 0: OFF 1: ON [10 進数表現: 0～3] 待機動作および再待機動作の選択が できないイベント種類に対して、待 機動作および再待機動作を設定し ても無視されます。	J-TI モジ ュール注文 時に、イベ ント種類 コードを 指定した 場合は、 イベント 種類コー ドによっ て待機 動作の出 荷値が異 なるイ ベント 種類コー ド指定 なしの 場合: 1
不使用	1CC0	7360	64	—	—	—
イベント 1 動作すきま ◆	1D00	7424	64	R/W	0.0～入カスパン	2.0
不使用	1D40	7488	64	—	—	—
不使用	1D80	7552	64	—	—	—

